

帝京マレーシア日本語学院 Study in Japan Info Day 2016 参加

2016年12月19日（月）と20日（火）に、帝京マレーシア日本語学院の主催で日本留学の情報提供を目的とした Study in Japan Info Day が行われ、日本からは筑波大学の他、九州大学、広島大学、熊本大学、信州大学、山梨大学、秋田大学、県立広島大学、中央大学、帝京大学、法政大学等の14大学（私立4校）3専門学校が参加した。本学はKLオフィスから岩本准教授と Ms. Azma が両日参加した。

当院は日本留学に直接つながる教育機関の一つであることから、当院の学生に加えて本語学院の入学を考えている高校生とその父兄、マレーシア政府海外留学奨学金を得て留学先を選定している学生なども本フェアに参加し会場は大いに賑わった。また参加者から寄せられる質問も、日本留学を視野に置いた具体的なものが多く、詳細な情報を求めて一つのブースに長時間滞在していた。筑波大学のブースでは、当院の学生で、筑波大学への入学を志望している李凱翔くんが我々のサポートに付いてくれた。彼の入試の当事者なので私費留学生の筑波大学への入学要件や入学試験、さらには、筑波大学の特徴や本学入学のメリット等について詳しく知っており、来訪者からの細部にわたる質問に対しても適切に答えてくれた。

帝京マレーシア日本語学院は、日本国外で唯一の文部科学省「大学入学のための準備教育課程」の指定を受けた日本語教育機関で、日本語だけでなく、数学、理科、社会など、マレーシアから日本への留学を目指す方々のための準備教育を行っている（web ページから）。そのため本校は日本留学に直接つながる窓口として単なる語学学校以上の意味を有し、日本留学を前提とした学生が集まる非常に効率の良い留学生募集の場となった。



会場の様子。



Info Day2016 参加スタッフ。左から岩本准教授（文責）、李凱翔くん、Ms. Azma。